

会 議 録

(7-1)

会議の名称		令和８年度 第２回春日部市公共施設マネジメント基本計画審議会	
開催日時		開 会	午前・午後１０時００分
		閉 会	午前・午後１１時１５分
開催場所		春日部市役所本庁舎５階 市長公室	
議長(会長等)氏名		横道清孝	
出席者	委員氏名	(出席人数：９人) 横道清孝、伊澤秀雄、佐々木誠、金子雅樹、駒月理人、田中聖嗣、 中村静栄、田村風夏、平田江里子 (会長及び副会長を除く、選任区分別五十音順敬称略)	
	説 明 者 そ の 他	(出席者数：０人) 傍聴人：０人	
	事 務 局	(出席人数：５人) 公共施設事業調整担当部長 浜村三博公共施設事業調整課長 金子恵訓 公共施設事業調整課公共施設マネジメント担当主幹 宮入俊文 公共施設事業調整課公共施設マネジメント担当主査 紺野善一郎公 共施設事業調整課公共施設マネジメント担当主査 小林由香里	
次第及び公開・一部 公開・非公開の区分		議事（全て公開） １ 開会 ２ 会長あいさつ ３ 市長あいさつ ４ 諮問 ５ 議事 （１）春日部市公共施設等総合管理計画骨子（案）について （２）市民アンケート（案）について ６ 事務連絡 次回会議日程等について ７ 閉会	

一部公開・非公開 の場合はその理由	☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：
配布資料	資料1：春日部市公共施設等総合管理計画骨子（案）について資料 2：市民アンケート（案）について
会議録の作成方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録署名の指定	会長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1 開会】
会長	【2 会長あいさつ】 《横道会長あいさつ》
市長	【3 市長あいさつ】 《岩谷市長あいさつ》
市長	【4 諮問】 《岩谷市長から諮問》
	【5 議事】 (1) 春日部市公共施設等総合管理計画骨子（案）について
事務局	《資料1に基づき説明》
議長	只今の説明について、ご質問等がありますか。
委員	公共施設マネジメント基本計画と公共施設等総合管理計画を分けた理由について伺います。
事務局	本市では、公共施設等総合管理計画を策定した後、その具体化を図るための計画として「公共施設マネジメント基本計画」を策定したことから、両計画に重複する内容が記載されています。 そのため、今回の改訂で、国が示す行動計画としての「公共施設等総合管理計画」と「個別計画」の内容にあわせて整理したいと考えています。
委員	今回改訂する「公共施設マネジメント基本計画」は、建築系公共施設の個別計画という位置付けでよろしいでしょうか。 また、インフラ系公共施設は対象外という理解でよろしいでしょうか。
事務局	お見込みのとおりです。
委員	建築系公共施設とインフラ系公共施設を分けた理由を伺います。
事務局	現行計画においても、インフラ系施設は別途個別計画を策定しています。建築系公共施設は建物として一括して扱えますが、インフラ系公共施設は道路や河川など特性が異なるため、今回の改訂においても同様に分けて整理したいと考えています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	インフラ系公共施設は、経済的には影響が大きいいため、計画上も外せないものと考えています。そのため、インフラ系公共施設の個別計画は、どこで策定されるのでしょうか。
事務局	インフラ系公共施設の個別計画は、各所管課で策定しています。ご指摘のとおり、インフラ系公共施設の経済的影響は大きいため、公共施設等総合管理計画で全体コストを把握するなどし、総合的に管理していく計画の体系を考えています。
議長	建築系・インフラ系公共施設の全てを管理する「公共施設等総合管理計画」を上位計画とし、インフラ系公共施設は、道路・河川や公園など個別計画が既に全て策定されているので、直下に位置付けられています。 しかしながら、建築系公共施設は、個別計画が策定されていない施設もあるので、すべての建築系公共施設を総括する個別計画として「公共施設マネジメント基本計画」を位置づけて、更にその下に必要な個別計画を位置づける計画体系となっています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	(2) 市民アンケート (案) について 《資料2に基づき説明》 只今の説明について、ご質問等がありますか。
委員	2点質問させていただきます。 1点目は、アンケート調査の対象に高校生が含まれていない理由についてです。高校生も公共施設を利用する機会が多いため、小中学生だけでなく、市内の高校にもアンケートを実施した方がよいのではないのでしょうか。 2点目は、市民アンケートのサービスの満足度を問う設問についてです。サークル活動では、「抽選に外れて施設を利用できない」という声もあります。施設集約により、さらに利用しにくくなることが懸念され不満につながる可能性があります。そのため、施設を減らしても十分に利用できるのか、実態や意見を把握できる問を設置してもよいのではないのでしょうか。
事務局	1点目につきまして、策定時は郵送アンケートの対象を18歳以上としていましたが、今回は16歳以上に引き下げ、高校生の意見も反映できるようにしました。ご意見をいただきましたので、高校生については、QRコードを活用し、市ホームページや市内高校を通じて周知し、意見の収集に努めます。 2点目につきまして、公共施設の予約はインターネットで行っており、利用が集中する時間帯は抽選となる場合があります。市内の公共施設は昭和40～50年代に建設されたものが多く、時代とともにニーズや利用方法も変化しています。今後実施する予定の施設利用者アンケートでニーズや意向を把握した上で、検討していきたいと思います。
委員	郵送アンケートでは、高校生の回答率は低いと思います。高校生の意見も重要だと思うので、学校から直接配付するなど回答しやすくなる工夫が必要だと思います。
委員	アンケート回答者に市内の高校生を含める取組は良いと思います。そのため、QRコードを活用した学校アンケートを高校生も対象に進めた方がよいと思います。 今後実施する施設利用者アンケートの内容については、市民アンケートの結果を踏まえ、方針や内容を決めていくのが良いと考えます。
事務局	市内の高校と調整し、QRコードから回答いただけるようチラシの内容や周知方法を工夫して行ってまいりたいと思います。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
副会長	市民アンケートで課題となるのが回答率です。一般的に 50%を超えれば高い回答率とされますが、今回のアンケートでは、どの程度の回答率を目標としているのか伺います。
事務局	計画策定時のアンケート回収率は約 38.6%で、行政が実施する調査としては比較的高い水準でした。一般的な回収率は 2 割程度と認識しており、今回も約 3 割を見込んで、郵送アンケートの対象を 3,000 人としています。
副会長	今回のアンケートでは様々な手法でアンケートを実施するので回答率は上がると思いますが、回答率が向上するように工夫をしていただくようお願いします。
委員	前回も同様のアンケートを実施しているため、今回の調査で市民の意識やニーズの変化を把握することは重要だと考えます。 一方で、個別の意見をどのように把握するかが課題です。 今回のアンケートで公共施設を利用しない人に理由を聞く設問は重要だと思います。しかしながら自由記述がないので、自由記述の設問を設けるなどの検討をお願いします。 また、公共施設を「利用したことがない人」だけでなく、利用に関する自由記述があった方がよいと思います。問 1 の設問部分に自由記述欄を設けても良いと思いますので検討をお願いします。 あわせて、施設利用者アンケートについて、今後、審議会の開催予定がない中で、こうした意見を反映する機会があるのか伺います。
事務局	1 点目につきましては、ご意見を踏まえ、修正します。 2 点目の施設利用者アンケートにつきましては、審議会の開催時期は間が空きますが、今後の検討の場として審議会で検討していきたいと考えています。
委員	計画改訂は建築系公共施設が中心になると思いますが、アンケートにはインフラ系公共施設に関する設問もあります。回答時には啓発用資料を添付すると思いますが、アンケート全体の目的や内容との整合性について伺います。
事務局	アンケートは、建築系・インフラ系公共施設の両方を対象としています。啓発用資料も両方を対象としたいと考えています。 また、総合的なコストを一体的に捉える必要があるため、今後の検討においてもインフラ系施設は重要と考えています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長 事務局	設問 1 のセクションには建築系公共施設とインフラ系公共施設の両方を記載する予定なのか伺います。 設問 1 のセクションは、建築系公共施設のほか、公園や広場など、インフラ系公共施設についても回答できるものを記載する予定です。 【 6 事務連絡】 【 7 閉会】

議 事 の 経 過
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 8 年 9 月 2 日 署名者の職・氏名 春日部市公共施設マネジメント基本計画審議会 会 長 横道 清孝（原本は自署）